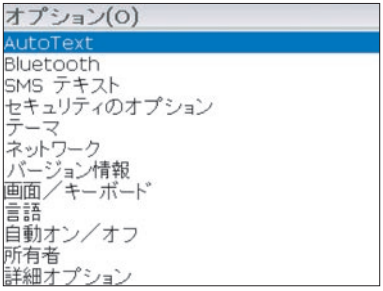
オプション設定

端末の基本設定をはじめ、ネットワーク関連やセキュリティの設定など、お使いの端末の各種オプション設定を行います。ここでは各種設定に必要な設定の値とその動作を説明しています。

1 ホームスクリーンで ● し、[オプション] を選択して ◀ します。

2 “オプション”画面が表示されます。
● し、設定する項目を選択して ◀ します。



AutoText

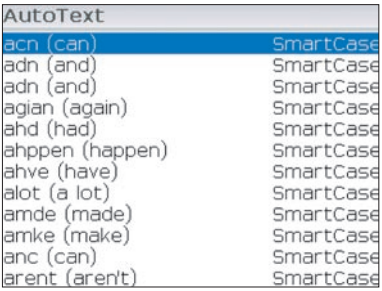
AutoTextは、あらかじめ登録してある文字を入力すると、それに対して登録されている文字に置き換えるオプション機能です。
AutoTextは新規登録、編集、削除によるカスタマイズが可能です。

お知らせ

AutoTextは英語モードでお使いただけます。
日本語モードでは使用できません。

1 “オプション”画面で ● し、[AutoText] を選択して ◀ します。

2 “AutoText”画面が表示されます。



AutoTextを新規登録する

AutoTextを新規登録します。

1 表示されたメニューから[新規]を選択して ◀ します。

2 “AutoText：新規 ”画面が表示されます。

検索する文字列

置換前の文字を入力します。

置換後の文字列(入力)

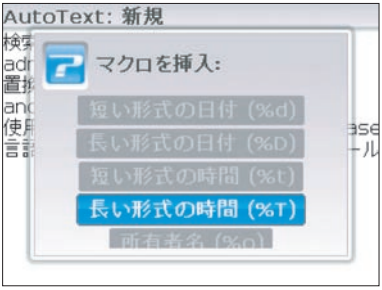
置換後の文字を入力します。

置換後の文字列(マクロを挿入)

マクロ(入力時の日付や時刻、所有者情報などの文字列)を挿入することができます。

1 [置換後の文字列]のフィールドで ◀ します。

2 [マクロを挿入]というダイアログボックスが表示されます。し、置換対象のマクロを選択して します。



エスケープキーを押すと文字の入力に戻ります。

使用

置き換え後のコンテキストを設定します。

1 設定値のフィールドを選択して します。

2 表示されたメニューから[変更]を選択して し、設定値を変更します。

設定値	設定結果
SmartCase	文脈に合わせて最初の文字を大文字に変換します。
Specified Case	入力どおり変換します。

言語

使用する言語を選択します。

1 設定値のフィールドを選択して します。

2 表示されたメニューから[変更]を選択して し、設定値を変更します。

3 設定終了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

AutoTextを編集する

登録されているAutoTextを修正します。

1 "AutoText"画面で し、編集するAutoTextを選択して します。
表示されたメニューから[編集]を選択して します。

2 "AutoText：編集 "画面が表示されます。
し、各項目を選択して して編集します。

3 設定終了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

AutoTextを削除する

登録されているAutoTextを削除します。

1 "AutoText"画面で し、削除するAutoTextを選択して します。
または、そのまま を押します。手順3の画面が表示されます。

2 メニューが表示されます。
し、[削除]を選択して します。

3 [「登録したAutoText」を削除しますか？]と確認画面が表示されたら[削除]を選択して します。

Bluetooth®

Bluetooth® に関する設定をします。

1. “オプション”画面で し、[Bluetooth]を選択して します。
2. そのまま してメニューを表示します。
3. 表示されたメニューで し、[オプション]を選択して します。
4. “Bluetoothのオプション”画面が表示されます。
   し、変更する設定値を選択して します。

5. 表示されたメニューの[変更]を して、設定値を選択、変更します。
6. 設定終了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

Bluetooth® のオプション設定詳細

デバイス名

接続する相手側のデバイスに表示される名前を設定します。
デフォルトでは[BlackBerry 8707]と表記されています。変更するには、任意の名称を入力します。

検出可能

他のBluetooth® 対応デバイスからの検索を可能にするか設定します。

設定値	設定結果
はい	検索可能にします。
いいえ	検索可能にしません。

発信の許可

Bluetooth® での発信通話制限を設定します。

設定値	設定結果
常に許可	許可します。
ロックされていない場合	ロックが解除されたときのみ許可します。
許可しない	許可しません。

アドレス帳の転送

Bluetooth® 通信によるアドレス帳の共有を設定します。

設定値	設定結果
無効	共有しません。
すべてのエントリ	共有を許可します。
ホットリストのみ	ホットリストに登録したデバイスのみ許可します。
選択したカテゴリのみ	この設定値を選択すると、カテゴリの入力フィールドが表示されます。ここに入力したカテゴリのみが許可されます。

LED 接続インジケータ

Bluetooth® 通信中インジケータの表示・非表示を設定します。

設定値	設定結果
オン	表示します。
オフ	表示しません。

サービス

利用可能なサービスを表示します。

プロパティ

接続中に表示される確認画面の表示・非表示を設定します。

1. “Bluetooth：有効”画面で し、プロパティを表示するデバイスを選択して します。
2. 表示されたメニューで し、[デバイスのプロパティ]を選択して します。

3 “デバイスのプロパティ”画面が表示されます。
し、変更する設定値を選択して します。

4 表示されたメニューの[変更]を して、設定値を選択、変更します。

5 設定終了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

デバイス名

ペアリングされたデバイスの名前を変更する場合このフィールドに名前を入力します。

信頼済み

接続の際に確認画面を表示するか設定します。
[いいえ]を選択した場合は接続を確立しません。

設定値	設定結果
質問する	接続の際に確認画面を表示します。
はい	接続の際に確認画面を表示しません。
いいえ	接続を確立しません。

暗号化

暗号化を有効にするか設定します。

設定値	設定結果
有効	暗号化を有効にします。
無効	暗号化を無効にします。

ペアリングされたデバイスを削除する

1 “オプション”画面で し、削除するデバイスを選択して します。または、そのまま DEL を押します。手順3の画面が表示されます。

2 表示されたメニューで し、[デバイスを削除]を選択して します。

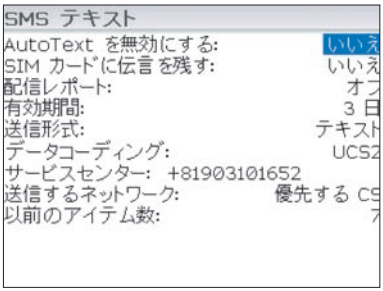
3 [ペアリングデバイス名 を削除しますか？]と確認画面が表示されたら[削除]を選択して します。

SMS テキスト

SMSテキストのオプション設定ではSMSの使用における、さまざまなオプションの設定を行います。
SMSのオプション設定は次の操作で表示し、設定を行います。

1 “オプション”画面で ● し、[SMS テキスト]を選択して ◀ します。

2 “SMS テキスト”画面が表示されます。
● し、変更する設定値を選択して ◀ します。



3 表示されたメニューの[変更]を ◀ して、設定値を選択、変更します。

4 設定終了後は ◀ してメニューを表示し、[保存]を選択して ◀ します。

SMSテキストのオプション設定詳細

AutoTextを無効にする

SMS テキストメッセージ入力時のAutoTextの有効・無効設定です。

設定値	設定結果
はい	AutoText を無効にします。
いいえ	AutoText を有効にします。

SIMカードに伝言を残す

SMSをメッセージリストにインポートしたときのFOMAカード上にあるSMSデータの削除設定です。

設定値	設定結果
はい	削除されません。
いいえ	削除されます。

配信レポート

すべてのSMSに対して配信確認を要求するか設定します。

設定値	設定結果
オン	有効にします。
オフ	無効にします。

有効期間

SMSが配信できなかった場合にサービスセンターが送信を試行し続ける期間を設定します。
※下の表ではすべての設定値を案内していますがお選びいただけるのは、“1日”また“3日”のみとなりますのでご注意ください。

設定値	設定結果
15分、30分、1時間、3時間、6時間、12時間、1日、3日、1週間、2週間	選択した期間、試行します。（お選びいただけるのは、“1日”また“3日”のみとなります。他の設定値を選択しても設定結果は反映されません。）
最大	設定最大期間、試行します。（設定結果は反映されません。）

送信形式

SMSの送信方式を設定します。
（通常は変更しません。）

お知らせ

[テキスト]以外の設定値はサポートしていません。必ず[テキスト]に設定し、通常は変更しないでください。

設定値	設定結果
テキスト	テキストに設定します。
Fax3	Fax3 に設定します。
Fax4	Fax4 に設定します。
音声	音声に設定します。
ERMES	ERMES に設定します。

データコーディング

SMSのコーディング方式を設定します。

お知らせ

7ビットに設定し、入力言語を英語に設定すると半角英数字160文字入力が可能となります。

設定値	設定結果
7 ビット	7 ビットに設定します。
UCS2	UCS2 に設定します。

サービスセンター

サービスセンター番号が表示されます。

お知らせ

センター番号は絶対に変更しないでください。

送信するネットワーク

送信するネットワークを設定します。

※本オプションは日本国内ではサポートされていません。

設定値	設定結果
優先する CS	CS（回線交換方式）を優先します。
優先する PS	PS（パケット交換方式）を優先します。

以前のアイテム数

サーバに保存する履歴数を設定します。

※本オプションは日本国内ではサポートされていません。

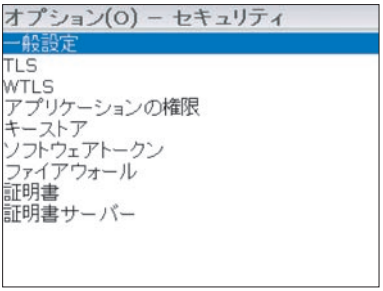
設定値	設定結果
1 ～ 50	設定数の履歴を表示します。

セキュリティのオプション

セキュリティのオプション設定では端末の使用における、さまざまなセキュリティの設定を行います。
セキュリティのオプション設定は次の操作で表示し、設定を行います。

1 “オプション”画面で ● し、[セキュリティのオプション]を選択して ◀ します。

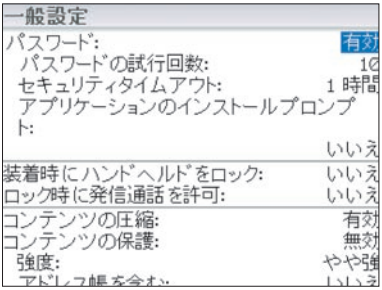
2 “オプション － セキュリティ”画面が表示されます。
● し、各オプションで ◀ します。各オプションの設定画面を表示して設定します。



一般設定

端末のパスワード設定など一般的な設定をします。

1 “一般設定”画面が表示されます。
● し、変更する設定値を選択して ◀ します。



2 表示されたメニューの[変更]を ◀ して、設定値を選択、変更します。

3 設定終了後は ◀ してメニューを表示し、[保存]を選択して ◀ します。

パスワード

端末のパスワードを設定します。

設定値	設定結果
有効	パスワードを有効します。
無効	パスワードを無効にします。

お知らせ

設定値を[有効]に設定した場合、一般設定を保存する際にパスワードの要求があります。
パスワードを入力しないと設定は保存されず、端末に反映されません。

お知らせ

BlackBerry® Enterprise ソリューションをご利用のお客様はシステム管理者のポリシー設定によりパスワードが変更できない場合があります。その場合、設定値の前に「赤い鍵マーク」が表示されます。

パスワードの試行回数

パスワードの試行回数を設定します。

設定値	設定結果
3～10	選択した回数に設定します。

セキュリティタイムアウト

パスワードの入力待ち時間を設定します。
設定した時間の間、端末操作が無い場合にロックが掛かります。

設定値	設定結果
1分、2分、5分、10分、15分、20分、30分、1時間	選択した時間に設定します。

アプリケーションのインストールプロンプト

アプリケーションを追加するときにパスワードを要求するか設定します。

設定値	設定結果
はい	パスワードを要求します。
いいえ	パスワードを要求しません。

装着時にハンドヘルドをロック

ホルスターに端末を装着した際、端末をロック状態にするか設定します。

設定値	設定結果
はい	端末をロックします。
いいえ	端末をロックしません。

ロック時に発信通話を許可

端末がロック状態のときに、発信を許可するか設定します。

設定値	設定結果
はい	許可します。
いいえ	許可しません。

コンテンツの圧縮

コンテンツを圧縮するか設定します。

設定値	設定結果
有効	圧縮を有効にします。
無効	圧縮を無効にします。

コンテンツの保護

コンテンツ保護を有効にするか設定します。

設定値	設定結果
有効	保護を有効にします。
無効	保護を無効にします。

強度

コンテンツ保護の強度を設定します。

設定値	設定結果
やや強	やや強に設定します。
強	強に設定します。
最強	最強に設定します。

アドレス帳を含む

コンテンツ保護にアドレス帳を含むか設定します。

設定値	設定結果
はい	アドレス帳を含みます。
いいえ	アドレス帳は除外します。

メッセージの背景色／エンタープライズメッセージ

BlackBerry® Enterprise ソリューションをご利用の場合に、BlackBerry Enterprise Serverを経由するメールの背景色を設定します。

設定値	設定結果
色	選択した色が適用されます。

お知らせ

BlackBerry® Enterprise ソリューションをご利用のお客様のみご利用頂けます。
BlackBerry® Internet Serviceをご利用のお客様はご利用頂けません。

メッセージの背景色／その他のメッセージ

SMSやPINメッセージ、BlackBerry® Internet Serviceを利用したメールなどBlackBerry® Enterprise Server 経由で端末に送信されないメールの背景色を設定します。

設定値	設定結果
色	選択した色が適用されます。

ITポリシー名

BlackBerry® Enterprise ソリューションをご利用の場合に設定されているITポリシーの“名前”、“最終更新日”、“タイムスタンプ”が表示されます。

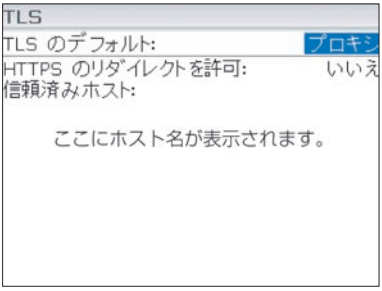
サービス

BlackBerry® Enterprise ソリューションをご利用の場合に設定しているサービスの“名前”が表示されます。

TLS

TLS暗号化通信の設定です。

1 “TLS”画面が表示されます。
し、変更する設定値を選択して します。



2 表示されたメニューの[変更]を して、設定値を選択、変更します。

3 設定終了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

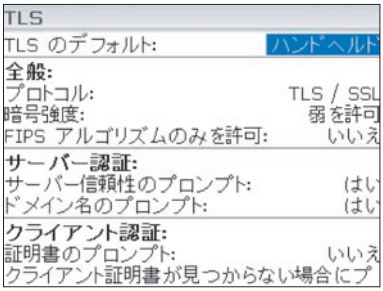
TLS のデフォルト

ブラウザが通信を行う際の暗号化の設定を行います。

設定値	設定結果
プロキシ	トリプル DES および TLS または SSL に設定します。
ハンドヘルド	ダイレクト TLS またはダイレクト SSL に設定します。

[ハンドヘルド]を選択すると、設定画面が表示されます。

1 し、変更する設定値を選択して し ます。



2 表示されたメニューの[変更]を して、設定値を選択、変更します。

3 設定完了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

■ 全般

[プロトコル]

ブラウザとコンテンツサーバー間のTLS接続に使用するプロトコルを指定します。

設定値	設定結果
TLS/SSL	TLS、SSL に設定します。
TLS	TLS に設定します。
SSL	SSL に設定します。

[暗号強度]

暗号化強度を設定します。

設定値	設定結果
弱を許可	128 ビット、56 ビットの暗号化を許可します。
強のみ	128 ビットのみの暗号化を許可します。

[FIPS アルゴリズムのみを許可]

FIPS規格の暗号化データのみ許可するかの設定です。

設定値	設定結果
はい	FIPS の暗号化データだけを許可します。
いいえ	限定しません。

■ サーバー認証

[サーバー信頼性のプロンプト]

ブラウザ接続時の認証で、信頼されないサーバーへ接続しようとした場合の警告表示設定です。

設定値	設定結果
はい	警告を表示します。
いいえ	警告を表示しません。

[ドメイン名のプロンプト]
ブラウザ接続時に証明書のドメインと、URLが異なる場合の警告表示設定です。

設定値	設定結果
はい	警告を表示します。
いいえ	警告を表示しません。

■ クライアント認証
[証明書のプロンプト]
ブラウザ接続時、証明書が必要なサーバーへ接続しようとした場合の警告表示設定です。

設定値	設定結果
はい	警告を表示します。
いいえ	警告を表示しません。

端末に複数の証明書がある場合にも警告表示をすることもできます。

[クライアント証明書が見つからない場合にプロンプトを表示]
ブラウザ接続時、端末に証明書がない場合の警告表示設定です。

設定値	設定結果
はい	警告を表示します。
いいえ	警告を表示しません。

[デフォルトのクライアント証明書]
証明書を指定する場合の設定です。

設定値	設定結果
なし	指定されません。
任意	任意に指定します。

[ホスト名／証明書マッピング]
信頼できるWebページのURLを登録します。

証明書の認証が必要なサイトにアクセスした際、ホスト名がリスト表示されます。

HTTPS のリダイレクトを許可

セキュリティで保護されたWebページから別のWebページに移動するときの警告表示設定です。

設定値	設定結果
はい	警告を表示します。
いいえ	警告を表示しません。

信頼済みホスト

信頼できるWebページのURLを登録します。

1 ● し、[信頼済みのホスト]のフィールドにカーソルを合わせ ◀ します。
または、"TLS"画面で ◀ します。

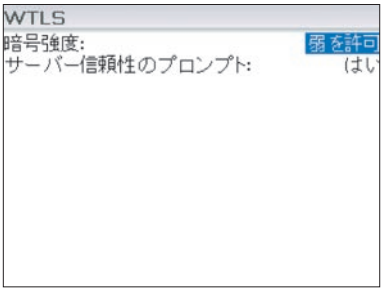
2 表示されたメニューから[ホストを追加]を選択して ◀ します。

3 表示された[ホスト名]ダイアログボックスにホスト名を入力します。

WTLS

WAPゲートウェイを通過するWTLS暗号化通信の設定です。

1 "WTLS"画面が表示されます。
● し、変更するオプションを選択して ◀ します。



2 表示されたメニューの[変更]を ◀ して、設定値を選択、変更します。

3 設定終了後は ◀ してメニューを表示し、[保存]を選択して ◀ します。

暗号強度

暗号化強度を設定します。

設定値	設定結果
弱を許可	128 ビット、56 ビットの暗号化を許可します。
強のみ	128 ビットのみの暗号化を許可します。

サーバー信頼性のプロンプト

ブラウザ接続時の認証で、信頼されないサーバーへ接続しようとした場合の警告表示設定です。

設定値	設定結果
はい	警告を表示します。
いいえ	警告を表示しません。

アプリケーションの権限

アプリケーションの権限を設定します。

1 “アプリケーションの権限”画面が表示されます。 し、アプリケーション名を選択して します。

2 表示されたメニューで し、次のメニューから選択して します。

プロパティを表示

アプリケーションのプロパティを表示します。

権限を編集

各アプリケーションに対しての各種権限を設定します。
詳細は「アプリケーションの権限を設定する」P.193を参照してください。

キーストア

キーストアの詳細設定です。

キーストアのパスワードを設定する

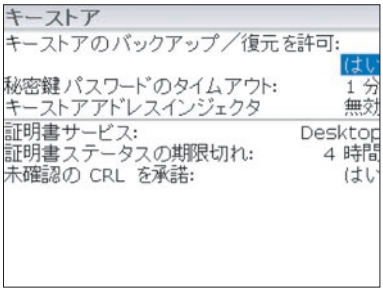
お知らせ

初めてキーストアを使用すると、自動的にパスワードの設定画面が表示されます。
パスワードを設定しないと、キーストアは使用できません。

1 “オプション-セキュリティ”画面で最初に[キーストア]を選択して すると、パスワードの設定画面が表示されます。

2 設定する任意のパスワードを入力します。 し、[OK]を します。
パスワード設定が終了すると“キーストア”画面が表示されます。パスワードが設定されると次回からは直接“キーストア”画面が表示されます。

1 “キーストア”画面が表示されます。 し、変更する設定値を選択して します。



2 表示されたメニューの[変更]を して、設定値を選択、変更します。

3 設定終了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

キーストアのバックアップ／復元を許可

バックアップと復元を許可するか設定します。

設定値	設定結果
はい	許可します。
いいえ	許可しません。

秘密鍵パスワードのタイムアウト

タイムアウトの時間を設定します。

設定値	設定結果
0 分、1 分、2 分、5 分、10 分、20 分、30 分、1 時間	選択した時間に設定します。

キーストアアドレスインジェクタ

証明書付き(S/MIME)の電子メールを受信した際に送信者の電子メールアドレスをアドレス帳に自動で追加するか設定します。

設定値	設定結果
無効	追加します。
有効	追加しません。

証明書サービス

使用する証明書サービスを設定します。

設定値	設定結果
サービス名	選択したサービス名に設定します。

証明書ステータスの期限切れ

証明書ステータスの期限を設定します。

設定値	設定結果
1時間、2時間、4時間、12時間、1日、1週間、1ヵ月、6ヵ月	選択した期限に設定します。
なし	期限を設定しません。

未確認の CRL を承諾

未確認CRLを承諾して許可するかの設定です。

設定値	設定結果
はい	許可します。
いいえ	許可しません。

キーストアのパスワードを変更する

最初に設定したパスワードを変更します。

1 “キーストア”画面が表示されたら ◀ してメニューを表示します。

2 表示されたメニューの[パスワードを変更]を ◀ すると、ダイアログから表示されます。
最初に設定したパスワードを入力して[OK]を ◀ します。

3 次のダイアログが表示されたら、新しいパスワードを設定して[OK]を ◀ します。

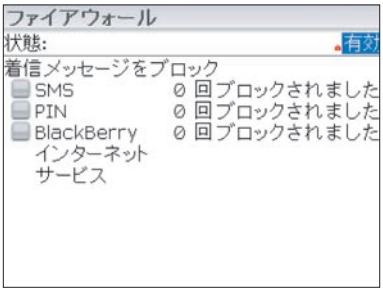
ソフトウェアトークン

端末にインストールしたソフトウェアトークンの設定をします。
トークンがインストールされていない場合は使用できません。

ファイアウォール

ファイアウォールの設定をします。

1 “ファイアウォール”画面が表示されます。
▶ し、変更する設定値を選択して ◀ します。



2 表示されたメニューの[変更]を ◀ して、設定値を変更します。

3 設定終了後は ◀ してメニューを表示し、[保存]を選択して ◀ します。

状態

ファイアウォールの有効・無効を設定します。

設定値	設定結果
有効	有効にします。
無効	無効にします。

着信メッセージをブロック

SMS、PINメッセージ、BlackBerry® Internet Serviceのメールに対してファイアウォールを適応するか設定します。
▶ し、ブロックする各メールの種類の横にあるチェックボックスにチェックします。

設定値	設定結果
☐	ブロックしません。
☑	ブロックします。

お知らせ

ブロックされたメッセージを受信しなくても、ブロックしたメールがワイヤレスサービスプランのデータ使用量として加算される場合があります。メール転送をオフにするか、メールフィルタを使用することによって、メッセージをデバイスに転送できないようにして、データ使用量に加算されないようにすることができます。

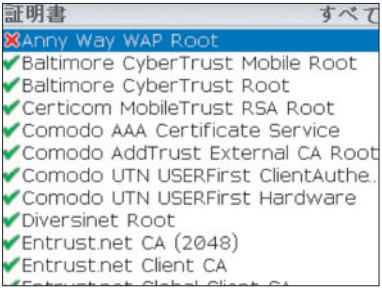
ブロックのカウンタをリセットする

ファイアウォールでブロックしたカウンタをリセットします。
表示されたメニューから[カウントをリセット]または[すべてのカウントをリセット]を選択して ◀ します。

証明書

証明書の管理をします。

1 “証明書”画面が表示されます。



2 ▶ し、管理する証明書を一覧から選択して ◀ します。

3 表示されたメニューで ▶ し、管理方法を選択して ◀ します。

削除

証明書を削除します。
確認画面が表示されたら ▶ し、[はい]または[いいえ]を選択して ◀ します。

信頼しない

証明書を信頼しない証明書に変更します。
確認画面が表示されたら ▶ し、[はい]または[いいえ]を選択して ◀ します。

取り消す

証明書を取り消します。
[証明書を取り消す適切な理由を選択してください]と確認画面が表示されたら ▶ で理由を選択して[OK]を ◀ します。

ラベルを変更

証明書のラベルを入力して変更します。
ラベルの入力画面が表示されます。
ラベルを入力して ▶ し、[OK]を ◀ します。
[表示]を ◀ すると証明書の詳細を参照できます。

詳細

証明書の詳細を表示します。

電子メールで送信

電子メールで証明書を送信します。
[電子メールで送信]を ◀ すると、電子メールの送信画面になります。
送信を完了すると、元の画面に戻ります。

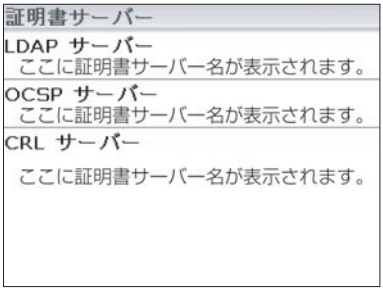
PIN で送信

PINで証明書を送信します。
[PINで送信]を ◀ すると、PINメールの送信画面になります。
送信を完了すると、元の画面に戻ります。

証明書サーバー

証明書サーバーの設定を行います。

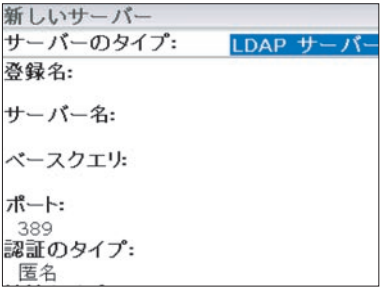
1 “証明書サーバー”画面が表示されます。
▶ し、管理する証明書サーバーを選択して ◀ します。



2 ▶ し、管理する証明書サーバーを選択して ◀ します。

3 メニューが表示されます。
▶ し、[新しいサーバー]を選択して ◀ します。

4 “新しいサーバー”画面が表示されます。
し、各入力項目を選択して入力または して設定値を変更します。



5 設定値を変更する場合は、表示されたメニューから[変更]を選択して します。

6 設定完了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

テーマ

ホームスクリーンのテーマを変更して、アプリケーション、インジケータ、単語、アイコンなどのアイテムの表示方法を変更することができます。
また、テーマをダウンロードしてお使いの端末のテーマをカスタマイズすることもできます。

1 “オプション”画面で し、[テーマ]を選択して します。

2 “テーマ”画面が表示されます。

テーマを変更する

表示されているリストから選択してテーマを変更します。

1 し、変更するテーマにカーソルを合わせて します。

2 表示されたメニューで し、[アクティブにする]を選択して します。

テーマをダウンロードする

インターネット上からテーマをダウンロードすることができます。

1 テーマ画面で します。表示されたメニューで し、[テーマをダウンロードする]を選択して します。

2 BlackBerryコンテンツ用サイトに接続され、テーマをダウンロードすることができます。

ネットワーク

ネットワークに関する設定をします。

1 “オプション”画面で し、[ネットワーク]を選択して します。

2 “ネットワーク”画面が表示されます。

3 し、変更する設定値を選択して します。

4 設定終了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

データサービス

データサービスのオン・オフを設定します。

設定値	設定結果
オン	データサービスを開始します。
オフ	データサービスを停止します。
ローミング時オフ	ローミング時のみデータサービスを停止します。

ネットワーク選択モード

利用するネットワークを自動的に選択するか、手動で選択するかを設定します。

設定値	設定結果
自動	ネットワークを自動で選択します。
手動	利用可能なネットワークから手動で選択します。[手動]を選ぶと、自動的に利用可能なネットワークが検知され、画面下部にリスト表示されます。利用するネットワークを選択します。

お知らせ

ネットワークのモードは常に受信を行うため、ネットワーク選択モードは通常[自動]に設定してあります。
国際ローミングの使用時も[自動]で選択しますが電波状況によっては変更が必要な場合があります。通常は[自動]に設定してあります。

ホームネットワークに戻り次第[ネットワーク選択モード]を[自動]に設定する

[ネットワーク選択モード]を手動に選択するとこのフィールドが表示されます。
海外から日本国内に戻った際に[ネットワーク選択モード]を自動的に[手動]から[自動]に変更するかを設定します。

設定値	設定結果
プロンプト	自動に戻すときに確認画面を表示します。
はい	自動に戻します。
いいえ	自動に戻しません。

お知らせ

ネットワーク選択モードを[自動]に選択しておくと、国際ローミング時に特別な設定変更をせずにスムーズにお使いいただけます。
[自動]に設定しておくことをお薦めします。

ネットワークモード

利用するネットワークの種類を設定します。

設定値	設定結果
3G	3G に設定します。
2G	2G に設定します。
3G と 2G	3G と 2G に設定します。

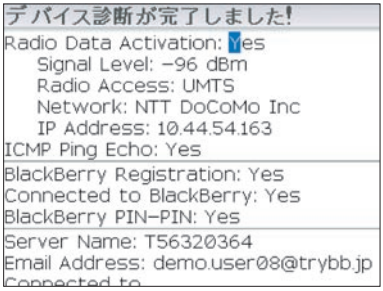
お知らせ

ネットワークモードを[3Gと2G]に選択しておくと、国際ローミング時に特別な設定変更をせずにお使いいただけます。
[3Gと2G]に選択しておくことをお薦めします。

ワイヤレスネットワークの診断

ワイヤレスネットワークの状態を診断することができます。
診断結果は保存され、電子メールでも送信されます。

1. ホームスクリーンで し、[オプション]を選択して します。
2. “オプション”画面が表示されます。
   し、[ネットワーク]を選択して します。
3. “ネットワーク”画面が表示されます。
   して、メニューを表示します。
4. 表示されたメニューで し、[診断]を選択して します。
5. “デバイス診断アプリケーション”画面が表示されます。
   して、メニューを表示します。
6. 表示されたメニューで し、[実行]を選択して します。
7. “デバイス診断を実行しています...”画面が表示され、診断が終了すると、“デバイス診断が完了しました！”と表示され、同時に診断結果の電子メールが届きます。

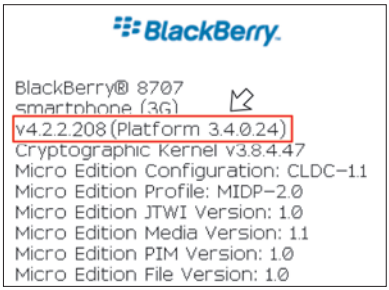


バージョン情報

BlackBerry® Device Softwareのバージョンを表示します。

1 “オプション”画面で し、[バージョン情報]を選択して します。

2 バージョン情報が記載された画面が表示されます。

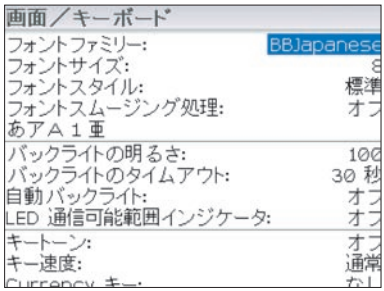


画面／キーボード

画面とキーボードに関する詳細設定をします。

1 “オプション”画面で し、[画面／キーボード]を選択して します。

2 “画面／キーボード”画面が表示されます。 し、変更する設定値を選択して します。



3 表示されたメニューの[変更]を して、設定値を選択、変更します。

4 設定終了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

画面／キーボードのオプション設定詳細

フォントファミリー

通常使用するフォントを設定します。

フォントサイズ

通常使用するフォントサイズを設定します。

設定値	設定結果
8～13	選択したフォントサイズに設定します。

フォントスタイル

通常使用するフォントスタイルを設定します。

設定値	設定結果
標準	標準に設定されます。
太字	太字に設定されます。
極太	極太に設定されます。
イタリック	イタリックに設定されます。
イタリック太字	イタリック太字に設定されます。

フォントスムージング処理

フォントのスムージング処理のオン・オフを設定します。

設定値	設定結果
オン	スムージングをオンにします。
オフ	スムージングをオフにします。

バックライトの明るさ

デフォルトのバックライトの明るさを設定します。

設定値	設定結果
10～100（10単位ずつ）	選択した数値に設定します。

バックライトのタイムアウト

操作をしていないとき自動的に消灯するまでのタイムアウト時間を設定します。

設定値	設定結果
10 秒、20 秒、30 秒、45 秒、1 分、90 秒、2 分	選択した時間に設定します。

バックライトは ⏻ でも変更できます。
詳しくは「ディスプレイの照度調整」 P.21を参照してください。

自動バックライト

バックライトの照度調整を自動的に行うか設定します。

設定値	設定結果
オン	自動的に調整します。
オフ	調整しません。

LED 通信可能範囲インジケータ

通信可能範囲を示すLED点滅の表示・非表示を設定します。

設定値	設定結果
オン	LED 点滅をオンにします。
オフ	LED 点滅をオフにします。

通信可能範囲を示すLED点滅色は緑です。

キートーン

ボタン確認音のオン・オフを設定します。

お知らせ

電話を掛けるときの“キートーン”はオン・オフの設定に関わらず消すことはできません。

設定値	設定結果
オン	オンに設定します。
オフ	オフに設定します。

キー速度

カーソルの移動速度を設定します。

設定値	設定結果
遅	遅に設定します。
通常	通常に設定します。
速	速に設定します。

Currency キー

通貨単位キーに割り当てる通貨単位を設定します。

設定値	設定結果
なし	割り当てません。
¥、$、£、€	選択した単位に設定します。

前面のコンビニエンスキーで開く

前面の 〔ー〕 を押したときに開くアプリケーションを設定します。

設定値	設定結果
なし	なにも割り当てません。
デフォルト	なにも割り当てません。
アプリケーション一覧から選択	一覧から選択したアプリケーションを割り当てます。

左側のサイドキーで開く

端末左側面のサイドキーを押したときに開くアプリケーションを設定します。

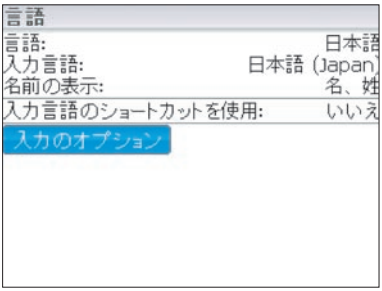
設定値	設定結果
なし	なにも割り当てません。
デフォルト	プロファイルが起動します。
アプリケーション一覧から選択	一覧から選択したアプリケーションを割り当てます。

言語

言語に関する設定をします。

1 “オプション”画面で し、[言語]を選択して します。

2 “言語”画面が表示されます。
し、変更する設定値を選択して します。



3 表示されたメニューの[変更]を して、設定値を選択、変更します。

4 設定終了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

言語のオプション設定詳細

言語

端末の表示言語を設定します。

設定値	設定結果
言語の一覧から選択	選択した言語に設定します。

入力言語

入力に使用する言語を設定します。

設定値	設定結果
言語の一覧から選択	選択した言語に設定します。

名前の表示

アドレスの名前表示の順序を設定します。

設定値	設定結果
名、姓	名、姓の順に名前を表示します。（例：太郎、携帯）
姓、名	姓、名の順に名前を表示します。（例：携帯、太郎）

お知らせ

名前表示のオプションを変更すると、電話機能、メール機能、カレンダーに表示される名前も変更されます。

入力言語のショートカットを使用

入力する言語をショートカット(を押しながら)で切り替えるか設定します。

設定値	設定結果
はい	入力言語の切り替えにショートカットを使用します。
いいえ	入力言語の切り替えにショートカットを使用しません。

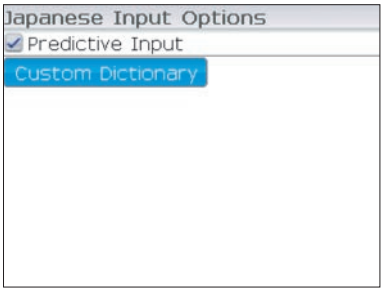
入力言語変更を通知

入力する言語を変更する際に通知を行うか設定します。

設定値	設定結果
はい	通知します。
いいえ	通知しません。

入力のオプション

[入力のオプション]を すると“Japanese Input Options”画面が表示されます。



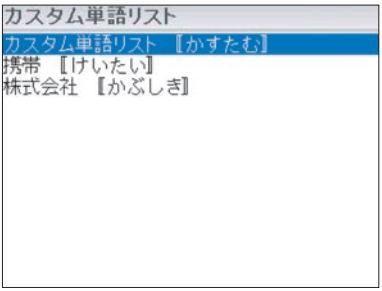
■ Predictive Input

文字入力時の予測変換のオン・オフを設定します。

設定値	設定結果
☐	オフに設定します。
☑	オンに設定します。

■ Custom Dictionary

[Custom Dictionary]を ◀ すると“カスタム単語リスト”画面が表示されます。



[新規]

新規に単語を追加します。

1. ◀ してメニューを表示します。
2. 表示されたメニューで ▶ し、[新規]を選択して ◀ します。
3. 入力画面が表示されます。
   登録する単語と読みを入力して ◀ します。
4. メニューが表示されます。
   ▶ し、[保存]を選択して ◀ します。

[編集]

登録されている単語を編集します。

1. ▶ し、編集する単語を選択して ◀ します。
2. 表示されたメニューで ▶ し、[編集]を選択して ◀ します。
3. 編集画面が表示されます。
   単語を編集して ◀ します。
4. 確認画面が表示されます。
   ▶ し、[保存]を選択して ◀ します。

[削除]

登録されている単語を削除します。

1. ▶ し、削除する単語を選択して ◀ します。
2. 表示されたメニューで ▶ し、[削除]を選択して ◀ します。
3. 確認画面が表示されます。
   ▶ し、[削除]を選択して ◀ します。

[Clear All]

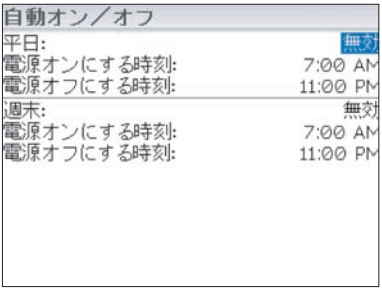
登録されている単語をすべて削除します。

1. ◀ してメニューを表示します。
2. 表示されたメニューで ▶ し、[Clear All]を選択して ◀ します。
3. [この操作により、すべての学習データが削除されます。よろしいですか？]と確認画面が表示されたら ▶ し、[はい]を選択して ◀ します。

電源の自動オン／オフ

自動的に端末の電源をオン・オフするよう設定します。

1. “オプション”画面で ▶ し、[自動オン／オフ]を選択して ◀ します。
2. “自動オン／オフ”画面が表示されます。
   ▶ し、変更する設定値を選択して ◀ します。



3. 表示されたメニューの[変更]を ◀ して、設定値を選択、変更します。
4. 設定終了後は ◀ してメニューを表示し、[保存]を選択して ◀ します。

電源の自動オン・オフのオプション設定詳細

平日と週末それぞれを設定できます。操作手順は、どちらも同じです。

平日または週末

設定有効化のオン・オフを設定します。

設定値	設定結果
有効	オンに設定します。
無効	オフに設定します。

電源をオンにする時刻

電源をオンにする時刻を設定します。
時間、分、AM・PMを選択し、▶ + ◀ で設定します。

電源をオフにする時刻

電源をオフにする時刻を設定します。
時間、分、AM・PMを選択し、▶ + ◀ で設定します。

所有者

セットアップウィザードで入力した本端末の所有者情報を表示します。
名前のフィールドや情報のフィールドを編集することもできます。

1 “オプション”画面で ● し、[所有者]を選択して ◀ します。

2 “所有者”画面が表示されます。

3 ● し、編集するフィールドを選択します。

4 情報を入力して ◀ します。

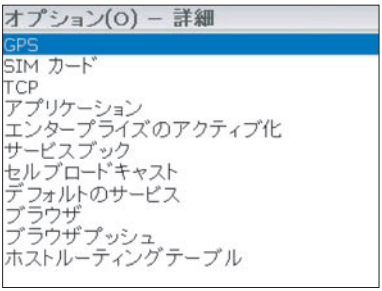
5 メニューが表示されます。
● し、[保存]を選択して ◀ します。

詳細オプション

端末の詳細なオプションを設定します。

1 “オプション”画面で ● し、[詳細オプション]を選択して ◀ します。

2 “オプション － 詳細”画面が表示されます。
● し、変更する各オプションの設定画面を選択して ◀ します。



3 表示されたメニューの[変更]を ◀ して、設定値を選択、変更します。

4 設定終了後は ◀ してメニューを表示し、[保存]を選択して ◀ します。

GPS

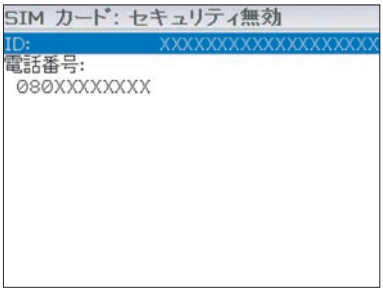
端末とペアリングされたGPS受信機搭載のBluetooth® 対応デバイスと接続した際に設定します。
ご使用になるGPS受信機搭載のBluetooth® 対応デバイスでの設定も必要です。詳しくはお使いのBluetooth® 対応デバイスの取扱説明書をご覧ください。

SIM カード

FOMAカードをPINコードで保護することができます。
PINコードで保護することで別のセキュリティレベルを追加し、登録した本人以外はFOMAカードを使用できなくなります。また、別の端末でFOMAカードを使用するときも、PINコードの入力が必要になります。

1 “オプション － 詳細”画面で ● し、[SIM カード]を選択して ◀ します。

2 “SIM カード”画面が表示されます。



セキュリティの有効化

FOMAカードをPINコードで保護します。

1 “SIM カード”画面で ◀ します。
メニューが表示されたら ▶ し、[セキュリティを有効にする]を選択して ◀ します。

お知らせ

FOAMカードのPINコードの入力を3回間違えるとFOMAカードは機能しなくなります。詳細については、「ドコモ・ブラックベリー・ケア」にお問い合わせください。
お問い合わせ先はP.1を参照してください。

FOMAカードのPINコードを変更する

FOMAカードのPINコードを変更します。

1 “SIM カード”画面で ◀ します。
メニューが表示されたら ▶ し、[PIN2 コードを変更]を選択して ◀ します。

2 [PIN2 コードを入力]とダイアログが表示されたら、新しいPINコードを入力します。

電話番号の表示をする

端末の電話番号を表示します。

1 “SIM カード”画面で ▶ し、電話番号の番号にカーソルを合わせ ◀ します。

2 メニューが表示されたら し、[SIM 電話番号の表示]を選択して ◀ します。

TCP

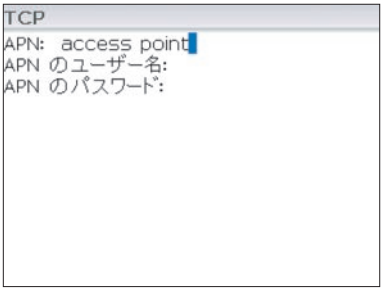
サードパーティアプリケーションのダイレクトインターネット接続を設定します。

お知らせ

設定にはインターネットに接続するアクセスポイントの詳細が必要です。
BlackBerry® Enterprise ソリューションをご利用のお客様は、システム管理者へお問合せください。

1 “オプション – 詳細”画面で ▶ し、[TCP]を選択して ◀ します。

2 “TCP”画面が表示されます。
▶ し、入力する設定値にカーソルを合わせます。



3 必要事項を入力します。

4 設定終了後は ◀ してメニューを表示し、[保存]を選択して ◀ します。

APN

アクセスポイントを入力します。

APN のユーザー名

ユーザー名を入力します。

APN のパスワード

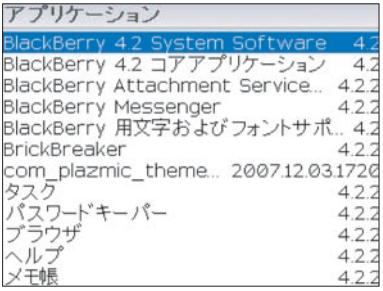
パスワードを入力します。

アプリケーション

インストールされているアプリケーションの情報を参照できます。また、アプリケーションに対して詳細な権限を設定できます。

1 “オプション － 詳細”画面で し、[アプリケーション]を選択して します。

2 “アプリケーション”画面が表示されます。



3 し、情報を見るアプリケーションを選択して します。

4 表示されたメニューで し、メニューを選択して します。

プロパティを表示

アプリケーションのプロパティを表示します。

モジュール

アプリケーションが使用するモジュールを表示します。

デフォルトの権限を編集

各アプリケーションに対しての各種権限を設定します。
詳しくは「アプリケーションの権限を設定する」P.193を参照してください。

エンタープライズのアクティブ化

アクティベーションを行います。アクティベーションは、BlackBerry Enterprise ソリューションをご利用のお客様が端末を利用する際に必要となる作業です。

お知らせ

BlackBerry® Enterprise ソリューションをご利用のお客様の設定です。
BlackBerry® Internet Serviceをご利用のお客様はご利用頂けません。

お知らせ

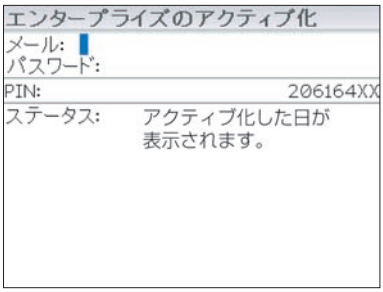
アクティベーションを行うには、BlackBerry® Enterprise Serverのシステム管理者から以下の提供を受けていることが必要です。

- ●メールアドレス
- ●アクティベーション用のパスワード

※グループウェアで使用するアドレス設定時のパスワードとは異なるものです。

1 “オプション － 詳細”画面で し、[エンタープライズのアクティブ化]を選択して します。

2 “エンタープライズのアクティブ化”画面が表示されます。



3 メールアドレスとパスワードを入力し、 します。

4 表示されたメニューで し、[アクティブにする]を選択して します。

5 アクティベーションを開始します。
完了までは時間が掛かる場合があります。

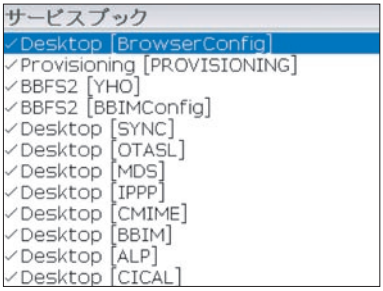
エンタープライズアクティベーションに関する詳しい手順は「アクティベーション」P.35を参照してください。

サービスブック

サービスブックに関する設定を行います。
サービスブックには端末で各サービスを利用するために必要な情報が含まれています。
サービスブックにより、端末で利用可能なサービスが決定します。BlackBerry® Enterprise ソリューションをご利用のお客様は管理者から配信されます。

1 “オプション － 詳細”画面で し、[サービスブック]を選択して します。

2 “サービスブック”画面が表示されます。



サービスブックを受け入れる

新たに配信されたサービスブックがある場合、リストに表示されます。受入れが完了していないサービスブックは名称左側にチェックマークがありません。

1. し、対象のサービスブックを選択して します。
2. 表示されたメニューで し、[承諾]を選択して します。

サービスブックを削除する

サービスブックを削除します。

> **お知らせ**
> BlackBerry® Enterprise ソリューションをご利用の場合、サービスブックの削除を行う場合は、システム管理者への確認をお勧めします。

1. し、対象のサービスブックを選択して します。
2. 表示されたメニューで し、[削除]を選択して します。

削除したサービスブックを復元する

サービスブックを復元します。

1. “サービスブック”画面で します。
2. 表示されたメニューで し、[削除の取り消し]を選択して します。

セルブロードキャスト

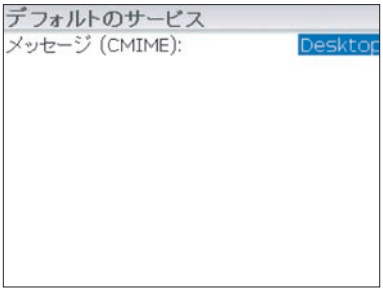
BlackBerry® 8707h Smartphoneはセルブロードキャストに対応していますが、日本国内ではネットワークが非対応のためご利用できません。
本オプションでの設定はご利用になれませんのでご注意ください。

デフォルトのサービス

BlackBerry® Internet Serviceをご利用のお客様で、お使いの端末に複数の電子メールアドレスが関連付けられている場合、電子メールの統合アイコンからの送信時に使用される電子メールアドレスを指定します。

1 “オプション － 詳細”画面で し、[デフォルトのサービス]を選択して します。

2 “デフォルトのサービス”画面が表示されます。



3 表示されたメニューから[メッセージ（CMIME）]の設定値を選択して します。

4 使用する電子メールアドレスを選択します。

5 設定が完了したら してメニューを表示します。し、[保存]を選択して します。

ブラウザ

デフォルトで使用するブラウザを設定します。
ご利用のサービスによりデフォルトのブラウザの名称が異なります。

BlackBerry Enterprise ソリューションをご利用の場合：BlackBerry Browser
BlackBerry Internet Service をご利用の場合：Internet Browser

1 “オプション － 詳細”画面で し、[ブラウザ]を選択して します。

2 “ブラウザ”画面が表示されます。
し、変更するブラウザを選択して し ます。

3 表示されたメニューの[変更]を して、ブラウザの名称を選択、変更します。

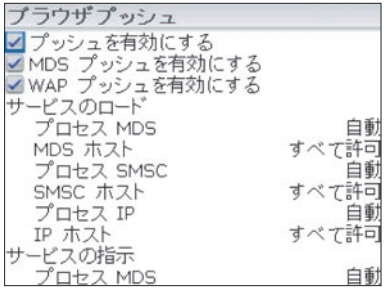
4 設定終了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

ブラウザプッシュ

ブラウザプッシュの詳細を設定します。

1 “オプション － 詳細”画面で し、[ブラウザプッシュ]を選択して します。

2 “ブラウザプッシュ”画面が表示されます。
し、変更する設定値を選択して します。



3 表示されたメニューの[変更]を して、各設定値を変更します。

4 設定終了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

プッシュを有効にする

すべてのブラウザからのプッシュに対しての有効・無効を設定します。

設定値	設定結果
☐	無効にします。
☑	有効にします。

MDS プッシュを有効にする

BlackBerry® Enterprise ServerまたはBlackBerry® Internet Service 経由のブラウザプッシュに対しての有効・無効を設定します。

設定値	設定結果
☐	無効にします。
☑	有効にします。

WAP プッシュを有効にする

WAPゲートウェイ経由のブラウザプッシュに対しての有効・無効を設定します。

設定値	設定結果
☐	無効にします。
☑	有効にします。

サービスのロード

[プロセス MDS]
BlackBerry® Internet ServiceまたはBlackBerry® Enterprise ソリューションからブラウザプッシュを受け入れるかどうかを設定します。

設定値	設定結果
自動	自動に設定します。
メッセージを表示	プッシュに対してメッセージを表示します。
拒否	拒否します。

[MDS ホスト]
すべてのBlackBerry® Enterprise ソリューションやBlackBerry® Internet Serviceからのブラウザプッシュを受け入れるかどうかを設定します。

設定値	設定結果
すべて許可	許可します。
すべて拒否	拒否します。

[プロセス SMCS]
SMSベースのブラウザプッシュを受け入れるかどうかを設定します。

設定値	設定結果
自動	自動に設定します。
メッセージを表示	プッシュに対してメッセージを表示します。
拒否	拒否します。

[SMSC ホスト]
SMSCホストからのブラウザプッシュの受け入れ先を設定します。 特定のSMSCホストからブラウザプッシュメッセージを受け入れるには、SMSCホストの電話番号を入力します。

設定値	設定結果
すべて許可	すべて許可します。
指定したものを許可	このオプションを選択した場合、新たにフィールド（指定された値）が表示されます。SMSC ホストの電話番号を入力します。
すべて拒否	すべて拒否します。

[プロセス IP]
WebアプリケーションがWAPゲートウェイ経由で送信するブラウザプッシュを受け入れるかを設定します。

設定値	設定結果
自動	自動に設定します。
メッセージを表示	プッシュに対してメッセージを表示します。
拒否	拒否します。

[IP ホスト]
WAPゲートウェイからのブラウザプッシュの受け入れ先を設定します。特定のIPホストからブラウザプッシュメッセージを受け入れるには、WAPゲートウェイのIPアドレスを入力します。

設定値	設定結果
すべて許可	すべて許可します。
指定したものを許可	このオプションを選択した場合、新たにフィールド（指定された値）が表示されます。WAP ゲートウェイの IP アドレスを入力します。
すべて拒否	すべて拒否します。

WAP プッシュアプリケーションを許可

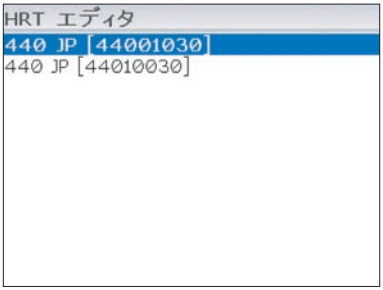
WAPゲートウェイ経由のアプリケーションを許可するか設定します。

設定値	設定結果
☐	許可しません。
☑	許可します。

ホストルーティングテーブル

メールの受信ができないなど、ワイヤレスネットワークからメッセージを受信していない場合に端末を登録します。

1. “オプション － 詳細”画面で ● し、[ホストルーティングテーブル]を選択して ◀ します。
2. “HRT エディタ”画面が表示されます。



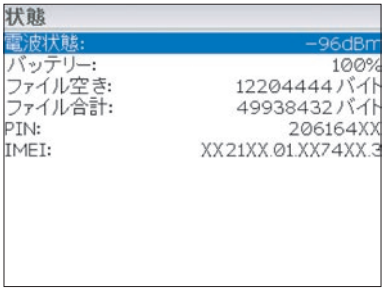
3. ● し、登録する対象を選択して ◀ します。
4. 表示されたメニューで ● し、[今すぐ登録]を選択して ◀ します。
[登録メッセージは送信されました！]と確認画面が表示されたら[OK]を ◀ します。
5. お使いの端末に登録が完了した旨の電子メールが届きます。

状態

電波状態、バッテリー電源の状態、ディスク容量、データベースの容量など、端末の状態を知ることができます。

1 “オプション”画面で ● し、[状態]を選択して ● します。

2 “状態”画面が表示されます。
● してメニューを表示します。



データベースの容量を確認する

1 “状態”画面で ● し、メニューを表示します。

2 表示されたメニューで ● し、[データベースのサイズ]を選択して ● します。

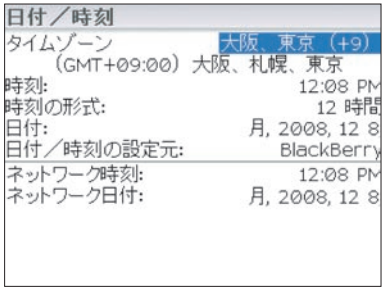
3 “データベースのサイズ”画面が表示されます。

日付／時刻

端末の日付と時刻を設定します。

1 “オプション”画面で ● し、[日付／時刻]を選択して ● します。

2 “日付／時刻”画面が表示されます。
● し、変更する設定値を選択して ● します。



3 表示されたメニューの[変更]を ● して、設定値を選択、変更します。

4 設定終了後は ● してメニューを表示し、[保存]を選択して ● します。

日付／時刻のオプション設定詳細

タイムゾーン

現在のタイムゾーンを設定します。

時刻

時刻を設定します。

1 ● し、時間、分、AM・PMそれぞれを選択して ● します。
メニューが表示されたら[変更]を選択して ● します。

2 表示された時刻を ● で選択して ● します。
時間、分は、それぞれ直接入力することもできます。

時刻の形式

時刻の形式を設定します。

設定値	設定結果
12 時間	12 時間制表示にします。
24 時間	24 時間制表示にします。

日付

日付を設定します。

1 ● し、年、月、日それぞれを選択して ● します。(曜日は自動的に選択されます。)
メニューが表示されたら[変更]を選択してします。

2 表示された年、月、日それぞれを で選択して します。
年、月、日はそれぞれ直接入力することもできます。
※月の直接入力のみ を押しながら入力します。

日付／時刻の設定元

日付と時刻の参照先を設定します。

設定値	設定結果
オフ	ユーザーが手動で設定します。
BlackBerry	BlackBerry® のシステムから取得します。
ネットワーク	接続しているネットワークから取得します。

アプリケーションの権限を設定する

サードパーティを含めるアプリケーションの権限を設定します。

お知らせ

権限を変更すると、アプリケーションの動作に影響を与える可能性があります。

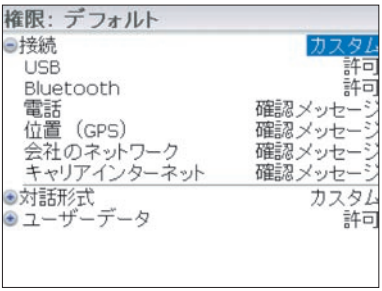
BlackBerry® Enterprise ソリューションをご利用のお客様は、システム管理者へお問合せください。変更する前にシステム管理者へ問い合わせることをお薦めします。

1 “オプション”画面で し、[セキュリティのオプション]を選択して します。

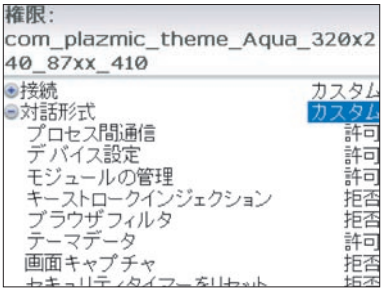
2 “オプション-セキュリティ”画面が表示されます。
し、[アプリケーションの権限]を選択して します。

3 “アプリケーションの権限”画面が表示されます。
し、権限を変更するアプリケーションを選択して します。

4 表示されたメニューで し、[権限を編集]または[デフォルトの権限を編集]を選択して します。



5 設定項目の前に がある場合、詳細設定項目が折りたたんであります。
展開する設定項目の設定値を選択して し ます。表示されたメニューで、 し[展開]を選択して します。



6 し、変更する設定値を選択して します。

7 メニューが表示されます。 し、[変更]を して、各設定値を変更します。

8 設定終了後は してメニューを表示し、[保存]を選択して します。

接続

次の詳細設定項目に対して一括設定をします。

設定値	設定結果
許可	すべて許可します。
カスタム	カスタム設定できます。
デフォルト	デフォルト値に戻します。
拒否	すべて拒否します。

USB

アプリケーションによるUSBの使用を許可するか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。

Bluetooth

アプリケーションによるBluetoothの使用を許可するか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。

電話

アプリケーションによる電話の使用を許可するか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。
確認メッセージ	確認のメッセージを表示します。

位置(GPS)

アプリケーションによるGPSロケーション情報の使用を許可するか設定します。

お知らせ

BlackBerry® 8707h SmartphoneはGPS受信機を搭載していません。
この機能をご利用いただくには、別途GPS受信機付きのBluetooth® 対応デバイスが必要です。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。
確認メッセージ	確認のメッセージを表示します。

会社のネットワーク

アプリケーションによる会社のネットワークを使用してインターネット、イントラネットを許可するか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。
確認メッセージ	確認のメッセージを表示します。

キャリアのインターネット

アプリケーションによる通信事業者のインターネット経由のアクセスを許可するか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。
確認メッセージ	確認のメッセージを表示します。

対話形式

次の詳細設定項目に対して一括設定をします。

設定値	設定結果
許可	すべて許可します。
カスタム	カスタム設定できます。
デフォルト	デフォルト値に戻します。
拒否	すべて拒否します。

プロセス間通信

端末内のアプリケーション同士での通信を許可するか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。

デバイス設定

アプリケーションが端末の電源をオン・オフできるか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。
確認メッセージ	確認のメッセージを表示します。

モジュールの管理

アプリケーションがモジュールを追加や削除したり、アプリケーション情報にアクセスできるか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。

キーストロークインジェクション

アプリケーションがキー操作のアクションをシミュレートできるか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。

ブラウザフィルタ

アプリケーションがブラウザフィルタを登録し、コンテンツ表示を制御できるか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。

テーマデータ

アプリケーションを追加のテーマとして使用できるか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。

画面キャプチャ

アプリケーションの画面キャプチャを許可するか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。
確認メッセージ	確認のメッセージを表示します。

セキュリティタイマーをリセット

アプリケーションがセキュリティタイマーをリセットできるか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。
確認メッセージ	確認のメッセージを表示します。

ユーザーデータ

次の詳細設定項目に対して一括設定をします。

設定値	設定結果
許可	すべて許可します。
カスタム	カスタム設定できます。
デフォルト	デフォルト値に戻します。
拒否	すべて拒否します。

電子メール

アプリケーションが、電子メール、SMS、PINメッセージにアクセスできるか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。

PIM

アプリケーションが、オーガナイザデータ(アドレス、カレンダータスク、メモ)にアクセスできるか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。

ファイル

アプリケーションが端末内のファイルにアクセスできるか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。

キーストア

アプリケーションがキーストア内の証明書や秘密鍵にアクセスできるか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。

キーストアミディアムセキュリティ

キーストアのパスワードをキャッシュしている場合でも、アプリケーションがキーストア内の証明書や秘密鍵にアクセスできるか設定します。

設定値	設定結果
許可	許可します。
拒否	許可しません。